

市長とのふれあいトーク2024【質疑応答】

当日の参加者からいただいたご意見と質問に対する回答を記載しています。

【担当課補足回答】およびNo.21以降の【担当課回答】は、ふれあいトーク実施後に各担当課からの回答を記載しています。

No.	質問・要望要旨	回答
1	中央公民館や交流センターの駐車場のラインが薄いので駐車しにくい。	【市長】 対応を検討します。
2	燕図書館はなぜあそこにあるのか。燕庁舎が空くのであれば、図書館としてはどうか。広くて燕駅からも近く、高校生等が自習に使える。駐車場も広く使いやすい。	【市長】 公共施設の今後のあり方は、老朽化して取り壊すか先が見えた段階で、どうすべきかまず我々が考え、地域の皆さんの声を聞きながらまとめ上げていくという大きな方針をとっています。図書館は現在、燕・吉田・分水の三地区にあります。それぞれ残すのがいいのか、統合して大きいのを作るのがいいのか。電子図書館というわざわざ図書館に行かなくても本が借りられるという仕組みもあります。世の中の動きや地域の皆さんのお考えを参考にしながら、良い案を考え、議会に提示しながら進めていければと思っています。水道局が空いたから直ちに図書館ということではなく、この先どうつかっていくか考えていきます。
3	藤の曲公民館と東公民館を燕庁舎に持っていくという話が具体化してきていると聞いた。燕庁舎は地域外なので行きづらくなる。地域の住民の声を聞いてほしい。	【市長】 藤の曲公民館をすぐに燕庁舎に持っていくことは決まっていません。同じ建物に入っている藤の曲保育園とセットで考えていかなくてはならないと思っています。保育園として先に、小池保育園と水道町保育園を先に民間の力を借りて改修します。その先に藤の曲保育園や小高保育園をどうするか考えながら、公民館もどのようにするのがいいか考えていきます。議会と何度も話し合いながら、みなさんのご意見を十分尊重しながら、一番いい形で進めていきたいと思っています。
4	市民交流センターのエレベーターはいつ頃直るのか。	【市長】 改修時期はまだはっきりしていません。既に発注は済んでいますが、世界的な半導体不足で業者から部品の納期が見えないと言われています。最大1年半とかかかると言われています。 【担当課補足回答】 納期は最長で令和7年8月末の予定と聞いています。
5	100円バスを利用しているが、シートベルトをしない人がほとんど。なるべくするようにしてほしい。シートベルト自体がないバスも増えている。	【市長】 シートベルトがない車があるか確認し、あった場合は委託業者に対応してもらいます。ドライバーからの呼びかけは今までどおり行ってもらおうよう指示します。 【担当課補足回答】 運行事業者に確認したところ、路線バス専用でシートベルトのない車両が1台運行していることが確認とれました。6月中旬には車両を入れ替えて全車両シートベルトがあるバスで運行する予定です。
6	友人が子育て世帯で県外からのUターンを考えている。夫が休みにくく、子育てに手がかかるときに残業も増えて帰ってこれないので、地元に戻ってこようという声をよく聞く。残業しなくてもいい企業を紹介してほしい。また「燕 子育て 転職」で検索しても、子育て応援企業がヒットしない。ヒットするようにしてほしい。	【市長】 子育てしやすい会社を目指そうと思ってくれる経営者は非常に増えてきています。子育て応援企業やハッピーパートナー企業が増えているのがその証拠です。検索について、どのようなやり方がいいか検討します。 【担当課補足回答】 検索エンジンの仕組みが変わり、「転職」などのワードをタグ付けしても検索の上位にあがらないようになっています。「つばめ子育て応援企業」のサイトにおいて、「転職」や「残業ゼロ」などのワードを直接テキストで書き込むなど、どのようにすれば検索上位にあがるか研究していきます。

市長とのふれあいトーク2024【質疑応答】

当日の参加者からいただいたご意見と質問に対する回答を記載しています。

【担当課補足回答】およびNo.21以降の【担当課回答】は、ふれあいトーク実施後に各担当課からの回答を記載しています。

No.	質問・要望要旨	回答
7	私立保育園等奨学金、介護人材奨学金制度の対象は。市内在住か。	【市長】 保育士、介護士等が対象で、市内事業所に就職するのが条件です。 【担当課補足回答】 市外在住の方も対象です。 介護人材奨学金返還補助事業は、市内の介護事業所に勤務していることが条件であり、職種は介護業務に限らず、その他職種も対象になります。
8	子どもや赤ちゃんの話ばかりで高齢者の話がない。高齢者の外出支援など、いろいろなところでコミュニティが作られている。そこへの対応はどうなっているのか。ボランティアという話も聞いているが。	【市長】 時間が限られていますので今回のふれあいトークでは人口減少というテーマで新規・拡充の事業に絞って説明しましたが、実際は、高齢者施設の充実や健康・介護予防など、いろいろな取り組みを行っています。決して高齢者施策をないがしろにすることはありません。例えば、介護保険料は私が就任したころは県内でも3番目くらいに高かったが、健康づくりや介護予防の取り組みを進めた結果、現在は県内平均を下回るほどになりました。 【担当課補足回答】 高齢者の生活支援体制を整備するために、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の外出先としての通いの場の立ち上げや、まちづくり協議会単位の支え合いの仕組みづくりや身近な相談ができるお助け相談所の設置が進んでいます。 また、地域住民のちょっとした困りごとを地域で助け合う有償ボランティア事業が令和4年6月から開始され、支え合いの地域づくりが進んでいます。 今後も関係機関と連携しながら、通いの場の拡充、支え合い体制の強化、健康づくりや介護予防の取り組みの推進を継続して行っています。
9	高速バスを月に1回ほど使うが、駐車場がない。公園も満杯だった。	【市長】 井土巻五丁目公園駐車場に停められるようにしましたが、路上駐車が解消しません。三条市と入り組んだ地区で、制約があり、直ちに解決することは難しいですが、引き続き、諦めずに良い方法がないか考えていきたいと思っています。
10	少子高齢化で側溝の泥上げが負担になっている。水を流すとか、市として恒常的に水の流れが悪い排水溝の見直しを考えてほしい。泥上げをやらない方もいる。	【市長】 特に高齢化社会になって泥上げが大変になっています。自治会のあり方にも関わってくるので、長い目で見ながらどうすればいいか考えていきたいと思っています。 【担当課補足回答】 側溝の改修については、各自治会から多くの要望をいただいています。燕市では、地域間のバランスにも配慮しながら、年度ごとに整備実施箇所を選定し、継続的に側溝の改修を行っています。
11	带状疱疹予防接種について。私は40代だが、何度かかかっており、治療費にお金がかかった。50歳より若くても接種が必要と医師が判断し、何かしら書いてもらえたら助成金をもらえるようにできれば助かる。	【市長】 50歳とは医学的な根拠で発症しやすいとされており、設定しましたが、ご意見いただいたような発想はなかったので、医師会の先生と相談しながら研究したいと思います。 【担当課補足回答】 助成事業の対象者拡充については、定期接種への移行に関する国の審議会の動向を注視しながら、燕市医師会と協議を重ね、検討します。

市長とのふれあいトーク2024【質疑応答】

当日の参加者からいただいたご意見と質問に対する回答を記載しています。

【担当課補足回答】およびNo.21以降の【担当課回答】は、ふれあいトーク実施後に各担当課からの回答を記載しています。

No.	質問・要望要旨	回答
12	市役所入口のガラスが見えずぶつかってしまう。紙か何か貼ってもらえないか。	【市長】 持ち帰って検討します。 【担当課補足回答】 市役所入口のガラスに衝突防止シールを貼り、対策します。
13	空き家のまま放っておく家が増えてきている。自治会では解決できない課題であり、新しい考えで空き家対策に踏みこまないとならないと思う。	【市長】 空き家撤去の補助金や空き家活用マッチングの仕組み「空き家バンク」、リフォーム補助金などを用意してきましたが、追い付かないくらい新たに空き家が発生しています。法改正など、制度が変わるタイミングを見据えて対策を考えていきたいと思っています。
14	国道116号の南側が広域下水道整備地区から外れた。単独処理槽が多く合併槽への切り替えが進んでいない。新潟市は燕市の倍くらい補助を出している。	【市長】 浄化槽切替の補助制度は予算を消化するほどの申請があります。それ以上のニーズにどうこたえるか、新潟市の状況も調べながら推進策を検討していきたいと思っています。大きな費用がかかる下水道整備の目途が見えてくれば、浄化槽への転換に対する予算措置もしやすくなると考えています。 【担当課補足回答】 新潟市は市街化区域なども広いため、国の助成が多くなってしまうと考えられます。令和元年以降、燕市の補助金交付実績も年ごとに増加しています。下水道事業課と連携して関連する計画を推進し、国の助成をより多く確保できるよう、働きかけを継続していきます。ちなみに補助の内訳は分水地区が55%を占めており、関心の高さが窺えます。
15	市長の定例会見を動画でみたが手話通訳が付いていない。三条市や新潟市では、手話通訳が付いている。動画をあげるときに手話通訳をつけてもらいたい。	【市長】 会見の動画に手話をリアルタイムでというのは難しいかもしれませんが、後で編集というやり方はありません。直ちに来月からというわけにはいきませんが、研究したいと思います。 【担当課補足回答】 定例会見の趣旨や、手話通訳配置のコスト等を考慮し、手話通訳配置の代替として、会見要旨のHP掲載等を検討しています。
16	市民交流センターの3階で、手話講座を行っているがエレベーター使用できなく、講座のたびに1階のロッカーに入れている機器を3階まで持って行くことが負担。簡易ロッカーを3階においてもらいたい。3階倉庫も鍵がかかることはわかるが、使用する他の団体が触れてしまう状況は懸念がある。	【市長】 エレベーターに関しては部品が調達できるまで不便をかけますが、ロッカーの設置以外にも、例えば3階ではない別の部屋で行うというやり方もあるかもしれません。負担を軽減できるかやり方を担当部署と相談します。 【担当課補足回答】 関係団体と協議して負担の少ない方法を検討します。
17	粟生津小学校や分水北小学校が児童数少ない。学校再編をどのように考えているか。一方、吉田南小学校は教室が足りないと聞いている。学童保育も不足している。まへの保育園があった場所を改修するという話も聞いている。その話を聞きたい。	【市長】 学童保育は不足しているため、旧吉田南保育園を改修し、児童クラブとして受け入れるよう準備を進める予定です。 【教育長】 学校の適正配置は重要な課題と認識しています。子どもたちのことを第一に考えますが、地域コミュニティの核という側面もあります。学校再編は、保護者、学区地域と対話をしていくことが重要であるという認識は市内PTA役員とも一致しています。今年度、市内全小中学校でコミュニティースクールをスタートしました。年に何度か地域住民、有識者と学校の未来を話し合う場があり、その場でも慎重に子どもたちの未来を考えていきます。

市長とのふれあいトーク2024【質疑応答】

当日の参加者からいただいたご意見と質問に対する回答を記載しています。

【担当課補足回答】およびNo.21以降の【担当課回答】は、ふれあいトーク実施後に各担当課からの回答を記載しています。

No.	質問・要望要旨	回答
18	市役所が「書かない窓口」になるとのことであるが、障がい者は窓口を動かなくてもよくなるのか。	【広報秘書課長】 各課の窓口に行ってもらうことにはなりますが、市民課のシステムと連携するため、他の課では署名だけで済むなど、なるべく書かないという点で負担軽減します。身体の不都合で移動が難しい人は、職員が書類を持って市民課窓口に行きますので、そこで手続きをしていただきたいと思います。 【担当課補足回答】 「書かない窓口」は来庁された方の申請書の作成を支援し、署名などの最小限の記入のみで手続きができる仕組みです。1度受け付けた情報を使い連携するため、氏名や住所などを繰り返し手書きする必要もなくなることで負担を軽減できます。身体の不都合で移動が困難な方などには、各担当者が市民課窓口に出向くなど対応しています。
19	市長の説明を聞いていると、子育て施策が中心で、正直、我々には恩恵がないと感じた。老人ホームに入りたいが、分水地区では入れる場所を紹介してもらいたい。	【市長】 各地区の地域包括支援センターに相談すると、状況に応じた施設を紹介してもらえます。今は昔と比べて待機者は少ないようです。今日は子育ての話が多かったですが、高齢者施策や障がい者施策も行っています。例えば新規事業として、介護施設職員も権利擁護ができる体制にするための研修を始めました。また、地域包括支援センター体制充実のため予算を増額しました。 【担当課補足回答】 地域包括支援センターでは本人の状態によって入所できる施設の紹介を行っています。また、施設の入所以外にも生活を支えるための制度の紹介や手続も行っているため、分水地区地域包括支援センターに、まずはお電話で相談していただきたいと思います。
20	今日の説明資料はもらえるか。家に帰ってから見返したりできるので、配付してほしい。ホームページでのダウンロードもネットが苦手な人だと印刷して見返すといったことも難しい。	【市長】 何部かご用意していますので後ほどお渡しします。
参加者からアンケートに記入いただいたご意見への回答		
21	増える認知症者、空家、「地域で支える」のスローガンの元、認知症サポーターの協力を得て空家を介護保険外の集まる茶の間の事業に展開できないか？	【担当課回答】 現状、空き家バンクに登録されている物件の活用(ご意見の用途含む)を希望される場合には、空き家の所有者とお繋ぎしています。ただし交渉等には介入していません。 現在、住民主体の団体が、空き店舗を活用して通所サービスを実施している例がありますが、空家を活用した茶の間の実施につきましては、バリアフリー改修や耐震補強の必要性があり、難しいのではないかと考えています。 また、認知症サポーターを中心に認知症の人を支える「チームオレンジ」の活動が市内各所で始まり、認知症の人が安心して参加・交流できる通いの場が増えてきています。 市では地域で活躍できる人材育成のための研修を行っており、今後も継続していきます。さらに認知症サポーターがより一層活躍できる方法についても検討を進めていきます。
22	久しぶりにふれあいトークに参加しました。直接、市長から市の取り組みについて話を聞けて良かった。今後も参加したい。	【担当課回答】 こちらも市民のみなさまから貴重な意見をたくさんいただきました。来年もぜひ参加いただき、たくさんの意見をいただくと幸いです。

市長とのふれあいトーク2024【質疑応答】

当日の参加者からいただいたご意見と質問に対する回答を記載しています。

【担当課補足回答】およびNo.21以降の【担当課回答】は、ふれあいトーク実施後に各担当課からの回答を記載しています。

No.	質問・要望要旨	回答
23	本日はありがとうございました。子育てについて聞けて良かったです。私の夫も燕に勤めていますが、いつも帰りが22時です。子供が寂しいと泣きますが、夫は帰れず、仕事量も増えています。子育て次第＝働き盛りなので仕方ないかと思いますが、できれば子育てしている人が(一人暮らしの若年層も)ワークライフバランス、子どもとの時間がもてるまちになるとUIターンも増えるかと思えます。ご一考ください。 ぜひ、担当課にお伝えください。ありがとう事業、とても素敵ですが、ネグレクトや虐待を受けている子は書くのが辛そうで心配です。任意にして提出したらプレゼントとかのほうかそういう子のケア、気持ちに配慮できるかと思えます。	【担当課回答】 様々な家族形態や家庭環境に配慮していけるよう検討いたします。
24	質問の時間が短い	【担当課回答】 今回、質疑応答の時間に余裕がありましたので、3会場とも参加者から質問が途切れるまで全て質問をお受けしました。質問をいただければお答えしますのでお気軽にご質問ください。
25	今回のアンケートもそうですが、アプリなどで紙資料を減らすことはできませんでしょうか？	【担当課回答】 次年度の開催に向けて検討します。
26	市長説明の資料配布は不用	【担当課回答】 詳細の説明を手元でご覧いただく必要がある際は、紙で配布する場合がありますが、基本的には市長の説明をお聞きいただくため、資料配布はせず、必要部分の情報を投影いたします。
27	とてもわかりやすく話を聞きました。意見交換も参考になりました。	【担当課回答】 こちらも市民のみなさまから貴重な意見をたくさんいただきました。来年も多くの市民に参加いただき、たくさんの意見をいただきたいと思います。
28	老後のことも検討してあることで安心しました	【担当課回答】 今回の説明では、時間の都合で高齢者向けの施策はあまり話ができませんでした。実際には、高齢者向けにも新規事業や拡充事業がたくさんあります。お伝えしきれなかった事業はウェブサイトや広報紙などでも案内していきます。
29	せっかく市長に直接意見質問できる場なのに参加者が少ないのは、とても残念に思います。今後もう少しとつきやすいふれあいトークになればいいと思います。実際井戸端会議的に市政の不備は色々聞いています	【担当課回答】 来年度の開催に向けて、より参加しやすい方法を検討します。